

	NPO 法人 京都観光文化を考える会 都草だより	第66号 発行人：小松香織 編集人：西野嘉一 発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁旧本館2階 電話：075-451-8146
---	------------------------------------	--

■ 都草創立 15 周年記念式典を 12 月に開催 ～ 京都学・歴彩館 ～



山田啓二氏

2007年(平成19年)に創立された都草は、今年で早15周年を迎えます。会員数も367名(10月1日現在)の大所帯となり、事業も多岐にわたって展開できるまでになりました。これを記念して、12月19日(日)に京都府立京都学・歴彩館(京都市左京区下鴨)で、都草創立15周年記念式典を開催します。

式典ではまず、前京都府知事の山田啓二氏に「文化庁を京都にお迎えして—観光産業の展望について—(仮題)」と題し基調講演を行っていただきます。山田氏は知事を退任された後、現在は京都文化博物館館長、京都産業大学理事 学長特別補佐 法学部教授などの要職に就かれています。



佐藤和哉氏

講演の後は、篠笛奏者・佐藤和哉氏による篠笛の演奏をお楽しみいただきます。佐藤和哉氏は佐賀県唐津市出身、近年は作曲家としても活動され、2013年ご自身の作曲「さくら色のワルツ」はゆずの「雨のち晴レルヤ」のモチーフに採用され、2014年レコード大賞優秀作品賞を受賞しました。

引き続き式典に移り、都草功労者表彰、8月に募集した「京都探訪シナリオコンテスト」の優秀作品を表彰します。功労者表彰は、10周年記念式典では都草創立に貢献された会員を表彰しましたが、今回は15年間都草の発展に貢献してこられた諸先輩の方々の労をねぎらい、感謝の表彰をします。

シナリオコンテストには会員から約60数点の応募がありました。外部審査員を交えて厳選な審査を行い、優秀作品を表彰します。

コロナの収束がまだ見通せない状況のため式典後の祝宴は行わず、参加者にはお土産として京都の老舗料亭のお弁当をお持ち帰りいただきます。(事務局長 藤井 久美子)

■自己紹介「新部長 三谷 静栄 会員」

この度、文化交流部会部長になりました三谷静栄です。

私は会社を退職後、英会話講師、観光ガイドそしてボランティアガイドのG G K H (伝統工芸と京をガイドする会) に在籍しておりました。

2014年、当時の都草会員の方より都草を紹介され入会、歴史探訪会南部会にも参加しました。また、「がんこ高瀬川二条苑」でのお庭の案内を2年間勤めました。日本人観光客よりもむしろ外国人旅行者の方がお庭案内を希望され、思いもよらず英会話のチャンスに恵まれガイドのスキルアップにもつながりました。さらにお茶、お花、芸舞妓などの日本文化を改めて体験し勉強させていただきました。その後都草をいったん退会し、2019年に再入会し、2020年から旧議場での案内業務を担当することになりました。お昼の休憩時間に事務局スタッフの方々と話をしているうちに、都草の活動内容を少しずつ理解できるようになりました。



今年、文化交流部会へのお誘いを受け、部長をお引き受けしました。京都にはたくさんの伝統工芸品があり、素晴らしい文化をすこしでも多く学習し体験させていただけるチャンスを得て、胸がワクワクしています。

(会員 三谷 静栄)

■ 1年半ぶりの旧議場土曜講座



旧議場土曜講座は、昨年度は新型コロナ感染拡大により中止となりましたが、今年度は聴講者の人数を22人と大幅に制限して実施されています。都草会員が講師を務める10月から来年3月までの講座内容が決まりましたのでご紹介します。

今回も毎月第3土曜日の13時30分から15時まで、京都の歴史・文化に様々な角度から光をあてて皆さまにお届けします。都草会員が講師を担当するのは昨年2月以来ですので、約1年半ぶりになります。毎回事前申込制（先着順）ですので、お聴きになりたい方は早めにお申し込み下さい。

各月のテーマと講師は以下の方々です。

10月16日(土)：「清水寺の不思議を探る」(講師は田村光弘シニアアドバイザー)

11月20日(土)：「応仁の乱・東陣エリアを語る」(講師は豊田博一理事)

12月18日(土)：「文化の発信地だった遊廓～島原を中心に～」(講師は植山政雄理事)

1月15日(土)：『平家物語』を深掘り」(講師は團道代会員)

2月19日(土)：「風流な文化人 足利義政」(講師は須田清司理事)

3月19日(土)：「府庁が見ていた 明治後期の京都」(講師は西野嘉一理事)

申し込み先は京都府府民総合案内・相談センター、TEL075-411-5000 (電話受付時間：平日9時～17時)。

(副理事長 須田 信夫)

■自己紹介「新監事 源 忠 会員」

令和3年度総会において監事に就任いたしました源忠でございます。

私は団塊の世代に京都で生まれ、現在も在住して70余年になります。子どもの頃は、京都が今日のように国内を問わず世界から注目されるころとは全く知らず、私たちの遊び場は近くのお寺(妙顕寺)の境内でした。

平成16年、京都観光文化検定試験が行われることを知り早速受験するとともに、都草の会員である知人の紹介で都草にも入会させていただきました。しかし、仕事(会計事務所勤務)や他のボランティアの活動もあってなかなか都草の活動には参加することができませんでした。ただ京都に対する思い入れは深く、機会あるごとに市内の名所や旧跡を一人で散策するのが楽しみでした。そんな中、昨年末に長年勤務していた仕事を退職することになりましたが、その折に都草の幹部の方より監事就任へのご依頼を受け、私に務まるのかと思案もしましたが、京都の観光文化の発展に貢献されている都草のお役に少しでも立てればと思ひ引き受けさせていただきました。

私のモットーは、勤務していた職場の指針でもある「三方よし」の精神で物事を考えることと、今までに受けた多くの恩恵に感謝しつつ恩返しをさせていただくことで、これからも何事も誠心誠意取り組んで行きたいと思っております。今後は皆様のご指導をいただきながら職務を務めていこうと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。(監事 源 忠)



```

=====
|| 今後の予定
|| ・歴史探訪部会は年内はお休みします、来春3月から再開できるよう準備中です
|| ・毎週日曜日の京都御苑、御所案内は、11月から再開できるよう準備しています。
|| ・2022年1月16日(日)、第9回都草講演会、詳細は10月にお送りする行事予定をご覧ください。
|| ・そのほかの予定は隔月にお送りする行事予定、ホームページでご確認ください。
|| お断り：予定は変更する場合があります。ホームページなどでお知らせしますのでご確認ください。
=====

```